

報道関係各位

2018年度入社式社長訓示(要旨)

総掲載物件数No.1の不動産情報サイト「LIFULL HOME'S」等の住生活情報サービスを提供する株式会社LIFULL（ライフル）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井上高志、東証第一部：2120）は、本日2018年4月2日にLIFULLグループの新入社員44名を迎えて入社式を行いました。弊社代表取締役社長 井上高志の訓示(要旨)は以下のとおりです。

新入社員のみなさん、LIFULLグループへの入社おめでとうございます。

「あらゆるLIFEを、FULLに。」

この大きなミッションを掲げるのが我々LIFULLグループです。

その新たな一員に、同じ志を持つ同志として44名のみなさんを迎えられたことを心から嬉しく思います。

今日は私から一つだけ皆さんにメッセージを贈ります。

「未来に点を打て！」

みなさんにとって今日は、学生から社会人になる節目の1日です。

これからの5年後、10年後をどんな未来にしたいか。

明確な日付が入った目標をみなさんが考え、みなさんが点を打つ、それが重要です。

すぐに叶うような短期的なものではなく、長期にわたって信念を持ってやり続けること、そして自己の利益のためだけでなく世の中に貢献し、世界を変えていくような目標を掲げてください。

今みなさんが生きている「シンギュラリティ時代」は2035年から2045年までの間に人口知能（AI）が人間の処理能力を超えと言われていています。そして、シリコンバレーや海外のTech企業では「エクスポネンシャル」という概念への関心が高まっています。これは指数関数のグラフが急上昇するカーブを描くように、飛躍的な発展を遂げるメカニズムを説明する際に用いる概念で、今後ゲノム解析、ナノテクノロジー、太陽光発電蓄電等においてエクスポネンシャルな成長が期待されています。

このように、エクスポネンシャルな技術革新があらゆるところで起こるシンギュラリティな時代に生きていることはとても貴重で、ワクワクすることだと思います。

20世紀に生まれ21世紀に社会人になる皆さんの世代には、ぜひ世紀をまたぐ架け橋となるような革新的な目標を掲げ挑戦してほしいと思っています。

僕の好きな言葉の一つにアメリカの計算機科学者でパーソナルコンピューターの父とも呼ばれるアラン・ケイの

「未来を予測する最善の方法は、自らそれを創り出すこと（The best way to predict the future is to invent it.）」という言葉があります。予測するのではなく、求める未来を「自ら創り出す」と言っているのです。

僕自身も起業、上場、業界変革、グローバル化とすべて未来に点を打ち実現させてきました。そして今は2025年までにグループ会社100社、100ヶ国への展開を次の未来の点に置いています。

今日から皆さんは未来に具体的に点を打ち、明確な目標と期日を掲げて、そのことを有言実行し、必ず成果を出すことにこだわって下さい。

「未来に点を打て！」

「世界を変えよ！」

LIFULLグループは「あらゆるLIFEを、FULLに。」をコーポレートメッセージに掲げ、より多くのおみなさまの暮らしを安心と喜びで満たす、住生活情報サービスを提供してまいります。

■株式会社LIFULLについて（東証第一部：2120、URL：LIFULL.com/）

株式会社LIFULL（ライフ）は、「不動産業界の仕組みを変えたい」という信念のもと、1997年に設立した住生活情報サービス運営企業です。主要サービスの不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」は総掲載物件数No.1（※）。住まいを中心に介護、インテリア、保険など周辺分野にも事業を拡大し、現在はグループとして世界57ヶ国でサービス提供しています。

LIFULLグループは、「あらゆるLIFEを、FULLに。」をコーポレートメッセージに掲げ、世界中のすべての人に、安心と喜びのライフソリューションを提供します。

※産経メディックス調査（2018.1.30）